

# 新年のご挨拶

マニラ日本人会会長

細谷 明宏



マニラ日本人会の皆様、謹んで新春のお祝いを申し上げます。

今年 2022 年が、コロナ禍からの回復が実感できた！と皆さんと

明るく語り合える年となることを、心から期待しております。

振り返れば2019年12月（以降、2000は省きます。記載する年月には慎重を期したつもりですが、誤りがありましたらご寛恕ください。）、中国で確認された原因不明の肺炎がSARSのように拡大するかもしれないと報じられ、翌20年1月には、日本やフィリピンで初めて新型コロナ罹患者が確認されました。2月になると横浜港でダイヤモンドプリンセス号が2週間の洋上隔離となり、下旬には北海道が独自に緊急事態宣言を発出。3月には選抜高校野球が中止、国際保健機関（WHO）から新型コロナの世界的パンデミックが宣言され、封じ込めのためのより積極的な行動要請が各国に対してなされました。

フィリピンではこの月の12日、大統領が「1ヶ月間、国民を新型コロナウイルスから守るため、マニラに隔離措置を導入する」と発表。15日から首都圏への出入りが制限され、17日以降は北部ルソン島全域で全住民は生活必需品の購入以外での外出を厳格に制限され、中国とイタリアに続く世界で3番目のロックダウンへと入っていきました。そしてこの月、東京オリンピック・パラリンピックは1年間の延期が決定されました。

感染拡大が続くなかでゲームチェンジャーとして期待されていたワクチンですが、20年3月においては開発に最短でも1年は必要と予想されていました。ところが複数の企業が開発競争に挑み、中国、ロシアは先行して接種に取り組み、その後イギリスやアメリカなどでは12月、日本とフィリピンでは明るく21年1月から接種が始まりました。

ここ2年弱の間、日本では首相が2回変わり、アメリカでも大統領が変わりました。また十年単位で取り組むテーマであろう気

候変動や ESG などへの注目度が急速に高まってきたとの印象があります。人間の弱さ、強さ、柔らかさ、あるいはしたたかさを時々感じながら、一日一日は長く、でも全体を振り返ればずいぶん短い、私には妙な感覚を覚える期間でした。

ここからはマニラ日本人会の活動について手短かに振り返らせていただきます。

20 年も 21 年もイベントはすべて中止となり、ライブラリーも継続的な休館を余儀なくされました。診療所は、20 年 3 月 18 日から休診に入りましたが、同年 6 月 15 日から健康診断と継続受診者への処方箋発行や電話での相談受付を開始。21 年 6 月から予約制での一般診療を再開しましたが、その後もコミュニティ隔離強化や職員罹患による一時休診などでご不便をおかけしました。21 年 2 月、皆さんからの信頼が厚かった菊地医師が、派遣元の海外邦人医療基金の解散を受け 10 年間にわたる診療所での勤務を終えて日本へ帰国されました。情報誌「まぶはい」は、同誌ボランティア編集委員の工夫と努力のもと、コミュニティ隔離中も皆様のマニラ生活に役立つ情報を発信し続けてきております。

21 年 4 月、フィリピン日本人商工会議所 JCCIPI とともにコロナ関連施策の要望書を越川大使あてに提出しました。大使ご自身が先頭に立って関係各署へ折衝をしてくださり、また館員の皆様が力を尽くしてくださった結果、フィリピン政府提供による在留邦人へのワクチン接種事業が実現しました。さらには日本政府が実施する「海外在留邦人・日系人の生活・ビジネス基盤強化事業」に JCCIPI とともに応募し、21 年 8 月から 11 月までの間に日本人会会員をはじめとする多くの在留邦人の方々に無料 PCR 検査を受けていただくことができました。

コロナ禍の期間中これまでのところ、会員の皆さんが集まり友好を深めることができる場の提供はできませんでしたが、各理事や事務局等の働きもあって、例年以上に会員各位をはじめとする在留邦人の方々の生活の安全にかかわる活動に力を注ぐことができたました。

この2年間弱は会員数の減少が続きました。これはやむを得ないことではあるものの、淋しい限りです。

しかし、今後コロナ禍が落ち着き、人の往来が再び活性化してくれば、フィリピンの持つポテンシャルが在留邦人数の増加を引き寄せてくるであろうことに疑いはありません。

この原稿を書いている今から1週間ほど前、新たなゲームチェンジャーとして期待される経口治療薬が他国で承認されたと報じられました。「まぶはい」新年号が皆さんのお手元に届くころには、ワクチン接種は世界的にさらに進展し、ウィズ・コロナのステージに向けた確かな兆しが見えていることでしょう。

とはいえ、どうぞ皆様、当面は引き続き感染防止に努めながら、安全にお過ごしください。

皆様のお声やご協力を頂戴しながら、これからも日本人会の活動を進めて参りたく考えております。

今年1年が会員の皆様にとって幸多き年となることを祈念しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。